

# Ⅳ 各論

## 1 取組の体系

総論で示された基本理念を実現するため、めざす「あいちの人間像」ごとに取組の柱を設定し、実施主体となる家庭・地域・学校を取組内容を成長段階別に明示します。その中でも、特に重点的に取り組んでいただきたいことを、家庭・地域・学校ごとに「宣言」として取り上げ、県民へ強く働きかけていきます。

また、家庭・地域・学校を取組を支援するために、平成22年度までに取り組む県の施策の方向を打ち出すとともに、人間像ごとに主な施策の実施計画と政策目標を掲げます。

「かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間」に迫るための取組

取組の柱	取組主体			成長段階			取組内容		
	家庭	地域	学校	乳幼児期	児童生徒期	成年期			
道徳性や社会性をつちかう教育	○			○	○		他者への思いやりの心を育む		
							あたたかい親心でわが子のしつけをする		
							読書により豊かな感性や情操を育む		
		○		○	○		大人が率先して子どもたちに範を示す		
							人間関係を育むための居場所づくりを進める		
			○				○	若者の居場所づくりと規範意識向上のための地域ネットワークづくりに取り組む	
								具体的なねらいをもって命を大切にすることの心や道徳性の芽生えをつちかう	
								友達との関わりを深める	
								あらゆる場面で「命を大切にすることの教育」に取り組む	
								豊かな人間関係を築く	
			○			コミュニケーション能力を高める			
			協働	○	○		命を大切にし、豊かな心を育む		
人権教育	○			○	○		差別や偏見をもたない心を伝える		
		○			○	○	差別や偏見のない社会づくりに努める		
			○		○		人権問題に対する正しい理解を育む		
					○		人権問題を解決する実践力を身に付けさせる		
いじめ・不登校等への対応	○				○		いじめ防止と不登校へのゆとりある対応に努める		
			○		○		未然防止に取り組む		
						協働	家庭・地域・学校の連携体制を強める		
安全教育	○			○	○		安全意識の高揚を図る		
		○		○	○		地域の子どもは地域で守る取組をする		
					○	○	地域を災害から守る自主防災活動に参加する		
			○		○		安全意識の育成に努める		
						○	災害時の教育機能の確保を図る		
						協働	緊急災害時の連携体制を整える		
						○	学校安全緊急情報を共有する		
福祉教育	○			○	○		ノーマライゼーションの理念について理解を図る		
			○		○		福祉教育プログラムの開発を進める		
							保育・介護等の体験、障害者・高齢者との交流を進める		
							高校における教科「福祉」を充実する		
						協働	○	○	NPOや福祉関係団体との連携を強める

※網かけは、家庭・地域(企業も含む)・学校で重点的に取り組んでいただきたい項目を示している。以下同様。

「自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間」に迫るための取組

取組の柱	取組主体			成長段階			取組内容
	家庭	地域	学校	乳幼児期	児童生徒期	成年期	
確かな学力の育成	○			○			確かな学力の礎となる好奇心を引き出す
					○		望ましい学習環境を作る
				○	○	○	ノーテレビ・ノーゲーム・ノー残業デーを活用する
	○		○	○			知的好奇心を育む
					○		基礎的・基本的な学力を定着する
							指導方法を工夫し、教材を開発する
							地域人材を活用する
							学習意欲・目的意識の高揚を図る
						学習評価の工夫改善に努める	
						教員の授業力を高める	
個性を生かし個性を伸ばす教育	○			○	○		優れた個性を見出し、伸ばす
						○	学習機会・学習情報を活用する
	○				○		豊富な人材や施設を活用する
						○	自主的な学習サークルを設ける
	○		○	○			発達の特性や課題に応じた指導を行う
					○		多様な能力を伸ばす
	協働					○	学校施設・人材を活用した学習講座を開設する
						○	地域の協力による授業プログラムを作成する
					○	独創性豊かな人材を育てる	
					○	大学等と連携して学習環境を整える	
					○	生涯学習の指導者を活用する	
キャリア教育	○			○	○		お手伝いにより自立を促す
					○		体験活動に参加する
						○	職業的自立のためのキャリア形成に努める
	○		○		○		親や大人の働く姿を見せる
					○	○	勤労観・職業観の育成を図る職場体験活動等を支援する
						○	青少年教育活動において主体性・社会性を育む
	○		○			○	キャリア形成と若者等の雇用を進める
							男女共同参画を進める
協働		○		○		勤労観・職業観の育成を図る職場体験活動等を充実する	
					○	大学等においてリカレント教育を進める	
					○	職業人との出会い・交流を進める	
特別支援教育	○			○	○		障害を早期発見する
						○	障害者の自立を支援する
	○		○				障害者の就業を支援する
						○	特別支援教育の推進を図る
				○	○		自立した生活のための環境づくりに取り組む
			○	○		障害児の就学相談を充実する	
				○		障害児の自立を支援する	
外国人児童生徒等への教育	○		○		○		外国人児童生徒等への適応指導を進める
							帰国児童生徒への教育を充実する
	協働		○	○	○		プレスクール・アフタースクールに取り組む
					○		外国人児童生徒の適応指導を充実する
						外国人生徒の進路指導及び就職支援を充実する	

「健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間」に迫るための取組

取組の柱	取組主体			成長段階			取組内容
	家庭	地域	学校	乳幼児期	児童生徒期	成年期	
体力づくり・スポーツ	○			○	○	○	体を動かす楽しさや運動に親しむ習慣を身に付ける
		○		○	○	○	総合型地域スポーツクラブを創設・育成する
				○	○	○	各種スポーツ行事等を開催、参加する
							スポーツ・遊びの指導者を育成する
			○	○		○	屋外や多人数での遊びを取り入れる
					○		体を動かす時間をつくる
						学校体育・部活動を充実する	
		協働		○	○	○	競技力を向上させ、競技スポーツを発展させる
健康教育	○			○	○	○	適切な生活習慣を身に付ける
				○	○	○	病気の予防に努める
		○			○	○	未成年者の喫煙・飲酒を防止する
							公共施設等における禁煙・分煙を推進する
		○		○		保健・健康教育を充実する	
食育	○			○	○		食についての正しい知識と習慣を身に付ける
			○		○		学校教育全体で食育を推進する
			○	○	○	○	家庭・地域・学校が連携して食育に取り組む
文化芸術	○			○	○	○	各種文化芸術・伝統芸能行事等を体験する
		○		○	○	○	各種文化芸術・伝統芸能行事等を開催、継承する
							文化財応援隊を育成する
			○	○	○		文化芸術活動の充実に努める
		協働				○	芸術系大学の地域活動(アウトリーチ等)を進める
読書活動	○			○	○		読書を楽しみ、読書習慣を身に付ける
						○	生活の中に読書の時間を設ける
			○	○	○		学校教育全体で読書活動を推進する
			協働	○	○	○	家庭・地域・学校が連携して読書活動を推進する

「次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間」に迫るための取組

取組の柱	取組主体			成長段階			取組内容	
	家庭	地域	学校	乳幼児期	児童生徒期	成年期		
国際教育	○			○	○	○	国際社会の一員としての責任を自覚する	
			○		○		異文化理解など国際理解教育を推進する	
					○		英語などの外国語教育を充実する	
							わが国の歴史と伝統文化を理解する	
	協働			○	○	○	国際交流・国際貢献・多文化共生を推進する	
情報教育	○				○	○	情報モラルや有害情報対策に取り組む	
					○	○	IT講習等に参加し、能力向上に努める	
			○		○		情報活用能力を身に付けさせる	
							情報モラルや有害情報対策の教育を充実する	
環境学習	○			○	○	○	愛知万博に学び、環境に配慮した行動に心がける	
			○		○		子どもができる環境保全活動を実施する	
						○	住民自ら環境保全に向けた取組を実施する	
							環境学習のノウハウを身に付ける	
			○	○			遊び・生活の中で環境学習を行う	
					○		環境学習を推進する	
	協働					○	環境学習ネットワークを構築する	
産業教育			○		○		モノづくり体験のイベント等を開催する	
							科学やモノづくりに対する啓発活動を推進する	
					○	○	NPOや企業等が主体となった教育を実施する	
							モノづくり愛知の人材育成の実践的な場を提供する	
			○		○		地域と連携し産業教育を推進する	
		協働				○	○	モノづくりを支える実践的な人材を育成する
								専門家の支援を受け、知的財産教育を推進する
							産学行政の連携により大学発ベンチャー企業を創出する	